



再歩

～にぎわい再び～

吉田自動車

代表 よしだ えいかく 吉田栄鶴さん

行政区： 広崎1町内

県道熊本高森線沿いにあり、白を基調とした店舗を広崎に構える吉田自動車。大きなバイクが並ぶ店内で、代表の吉田さんにお話を伺いました。

大阪で16年間、自動車関係の仕事をしてきた吉田さんは、平成26年の10月、父の言葉をきっかけに帰郷しようと考えたようになり、平成27年4月に熊本へ帰ってきました。そして、以前父親が建材関係の仕事に使っていた建物を事務所へ改装し、同年8月に「吉田自動車」の創業となりました。

平成28年になると仕事は軌道に乗りました。しかしその矢先、熊本地震で被災しました。

「前震のときは事務所です仕事をしていました。机の下に入ろうとしても、机が自分から離れていったことをよく覚えています」

発災からしばらくは混乱しつつも、市内の自宅の状況に気を配りながら、業務再開に向けて準備をしていました。

「もしかしたらという思いもあり、前震があった翌日から、寝室の出入り口により近い場所で家族と寝ていました。実際に本震が来て、揺れが収まったあと、普段寝ていた場所を見てみると、天井が斜めに落ちていました。今考えても、ぞっとします」と吉田さんは当時を振り返ります。

『すぐに動くべきだと決断しました』

本震によって自宅は全壊してしまい、一時、車中泊やみなし仮設住宅での生活を経験しました。また、事務所も大規模半壊の判定を受けました。鉄骨造りではあったものの、地震の被害は大きかったようです。

そのような状況でも、吉田さんは平成28年の6月にはすでに再建に向け、動き出していました。商工会の益城町未来創生グループに加盟し、自分でグループ補助金申請の手続きを行ったと言います。

努力のいかいもあり、平成29年11月11日、吉田自動車はリニューアルオープンを迎えました。

「非常に大変でしたが、グループ補助金の話があった時、すぐに動くべきだと決断しました」と吉田さん。県道熊本高森線沿いにある商工業者の中では、かなりの早さでの復旧でした。

しかし、吉田さんには心配事があります。店舗の前を通る県道熊本高森線は拡幅が決定しており、吉田自動車もその範囲に含まれているのです。事業の進捗次第では、将来的に移転しての営業も視野に入れなければならないため、吉田さんの心配の種となっています。

吉田さんは、「この事業は、多くの

人々の生活が懸かっているもので、今以上に行政間の連携を強化して、多くの情報を提供してほしいです」と話します。

最後に、商売をするにあたってのこだわりを聞いたところ、「私は自分の利益をあまり優先していません。自動車を売りたいという方の車はできるだけ高く買い、買いたいという方には良いものを安く提供するということを信条としています。以前勤めていた業界では、多くの著名な経営者の方々から『吉田さんは経営者に向いてないね』と言われたぐらいです(笑)」とのこと。ただ、それでも売り上げを順調に伸ばしているあたり、吉田さんの手腕には驚かされます。

多くの苦労や心配事を抱えながらも、明るく話をする吉田さん。

今後も、明るく真摯な商売を続け、益城町を盛り上げていただくことを願います。

産業振興課 商工観光係
☎ 286-3277